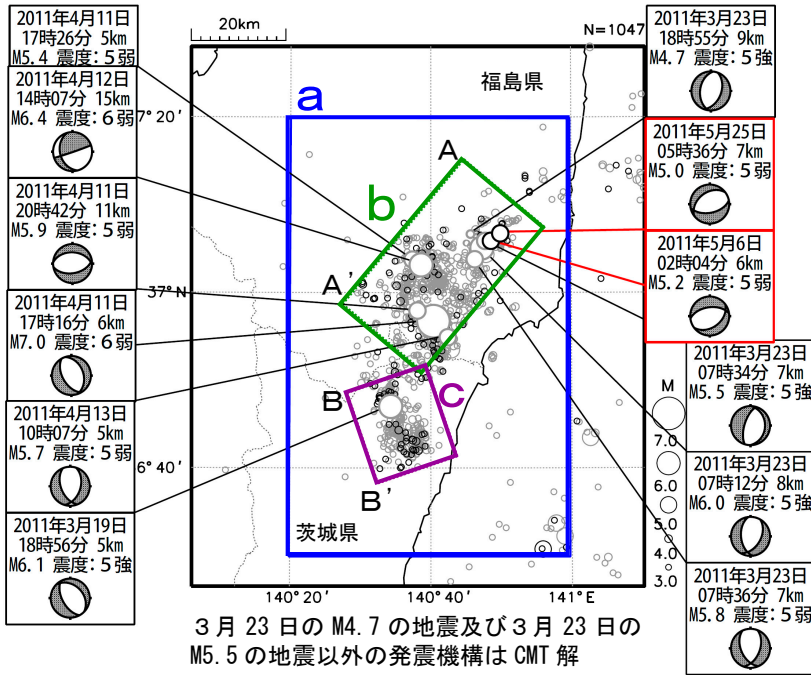


福島県浜通りから茨城県北部の地震活動

震央分布図

(2011年3月1日～2011年5月31日、深さ0～20km、 $M \geq 3.0$)

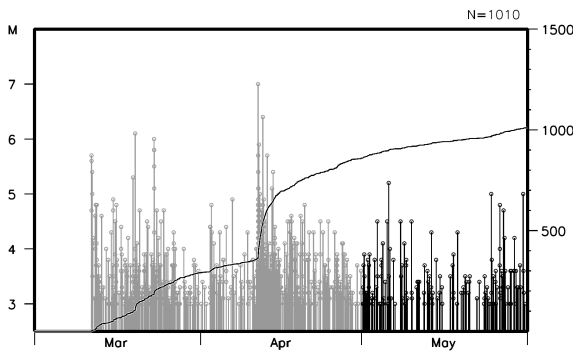
2011年5月以降の地震を濃く表示



3月23日のM4.7の地震及び3月23日のM5.5の地震以外の発震機構はCMT解

最大震度5弱以上を観測した地震に吹き出しをつけている。

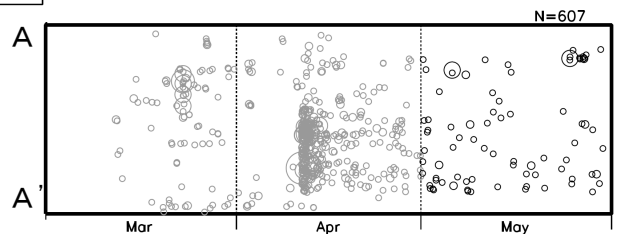
領域a内の地震活動経過図及び回数積算図



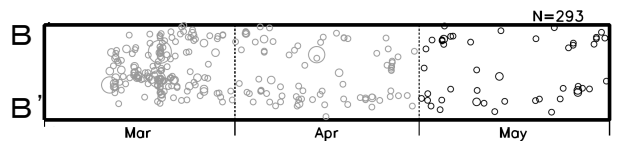
2011年5月、福島県浜通りから茨城県北部にかけての地域(領域a)では、6日02時04分に深さ6kmでM5.2の地震(最大震度5弱)、25日05時36分に深さ7kmでM5.0の地震(最大震度5弱)が発生した。これらの地震の発震機構(CMT解)は、ともに北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。これらの地震は地殻内で発生した。

領域aでは、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生後、地震活動が活発化しており、5月中も、M4.0以上の地震が北部(領域b)で10回、南部(領域c)で5回発生した。また、震度4以上を観測する地震は、領域bで4回、領域cで2回発生した。

領域b内の時空間分布図(A-A'投影)

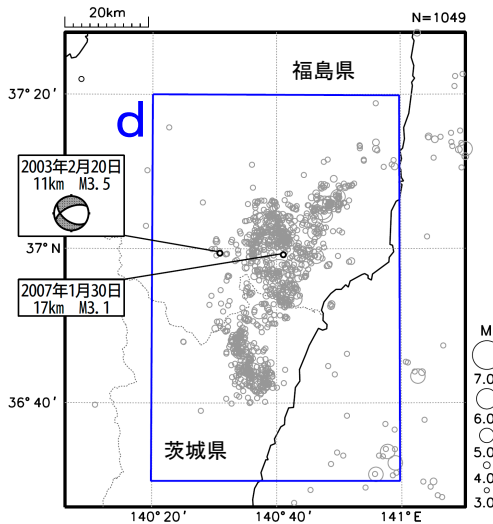


領域c内の時空間分布図(B-B'投影)



震央分布図(1997年10月1日～2011年5月31日、深さ0～20km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前の地震を濃く表示



1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域d)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」が発生する以前にはM3.0以上の地震はほとんど観測されていない。

1923年8月以降の活動を見ても、領域dではM5.0以上の地震はほとんど観測されていない。

領域d内の地震活動経過図

